

「主体的に学ぶ子」を育成する「家庭学習」について

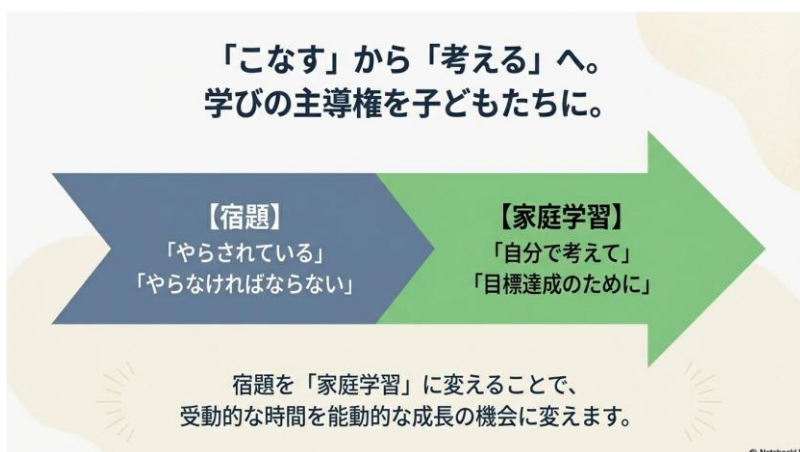
〈大宝東小学校の「家庭学習」の考え方〉

「社会の急激な変化を乗り越え未来を切り拓いていく力」が求められる今、その学力基盤として、本校では、子どもたちに「自ら進んで学ぶ力」を育成することが大切だと考えています。これは学校の授業だけでなく、家庭での学習においても培いたい力です。

家庭で時間を決めて、自分から学習することが当たり前になることで、学びに向かう姿勢が育まれます。苦手なところや、分からないところを中心に復習することで、基礎学力の定着が図られます。次の授業の予習をすることで、学習意欲や自信が高まる効果があります。また、自分自身で課題をもって取り組むことで、目的に合った「学び方」が身に付き、各教科の見方や考え方が深まり、一人ひとりの可能性を広げることにもつながると考えます。

そこで、令和5年度より本校では、家庭での学習については、「やらされているもの」「やらなければならないもの」と思いがちな「宿題」という言葉は用いず、「自分で考え、目標に向かって、自ら学び続けていく力をつけていくもの」として、「家庭学習」と呼んでいます。また、学年ごとに「家庭学習」を例示しながら、画一的な（一律の）課題を出すことは避け、児童一人ひとりが自分のためになる学習を選択して取り組むように働きかけています。

「家庭学習」の主体は、あくまでも児童本人となります。学校では、家庭での学習習慣や学習内容を認め励ますことを大事にし、「自分で考える力」や「目標に向けて学び続ける力」、「計画的に取り組む力」が子どもたちに身に付くように努めていきます。ご理解ご協力を賜りますようよろしくお願いいたします。

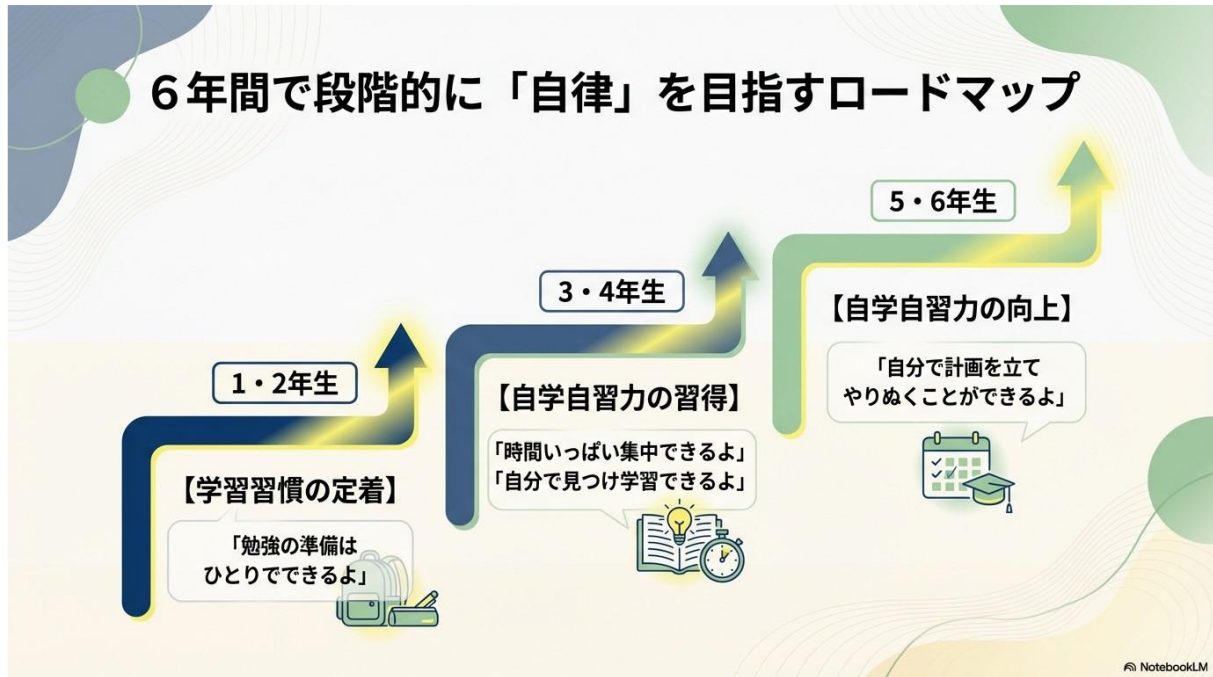


家庭学習を通して育む「5つの力」



テストの点数だけでなく、生涯役に立つ
「非認知能力」を日々の習慣の中で育てます。

〈自主性重視の「家庭学習」への取り組み方（概要）〉



◆ 低学年（1，2年生）の「家庭学習」の取り組み方

- ・ 目標は「家で学習する習慣を身に付けること」です。目標時間は20～30分間です。
- ・ 基礎的な学力を身につけるという観点から、漢字ドリルや計算ドリル、音読カード等を有効に活用することを推奨します。
- ・ 学習する場所をきれいにしたり、テレビを消したり、学習ができる環境を整えます。
- ・ 最初の5分間を集中して取り組めるようになると、学習に対する集中力と粘り強さが高まります。
- ・ お子さんが課題を終えたら、答え合わせ（マルつけ）をお願いします。できたことは大いに褒め、つまづいたときには優しくアドバイスして、できるまで寄り添ってやってください。そうすることで、どんどん勉強が好きになっていきます。

◆ 中学年期（3，4年生）の「家庭学習」の取り組み方

- ・ 目標は「自主性と持続力を身に付けること」です。目標時間は40～50分間です。
- ・ 漢字や計算、音読を中心に、自分で取り組む課題を選択します。「自主学習」にも少しずつ取り組ませてください。まずは、その日の授業の復習などから始め、自分のやりたいこと、調べたいことなども、親子で考えて取り組めるようにしていきたいです。
- ・ テレビやゲームのスイッチを切るなど、学習環境は自分でつくっていきます。学習場所を、お家の方から見える場所にすると効果的です。
- ・ 最初の10分間を集中して取り組めるようになると、学習に対する集中力と粘り強さが高まります。
- ・ 答え合わせ（マルつけ）は、できる限り自分でします。間違えた問題を、確実にやり直しているかどうかの見届けをお願いします。やり直しをすることで着実に学力は向上します。

◆ 高学年（5，6年生）の「家庭学習」の取り組み方

- ・目標は「課題設定力と持続力を身に付けること」です。目標時間は60～70分です。
- ・漢字や計算、音読を中心に行い、「自主学習」にも進んで取り組めるようにしたいです。また、テストに向けての勉強を行ったり、いろいろな教科の学習について調べたり、目標をもって家庭学習ができるようにしていきたいです。1週間の計画を立てて取り組むことにも挑戦します。保護者として積極的に相談に乗ることも、学習意欲を向上させることにつながります。
- ・最初の20分間を集中して取り組めるようになると、学習リズムが身に付き、集中して長時間学ぶ力が身に付きます。
- ・自分で「学習環境」づくりができることが大切です。中学年期までできていたことが、できなくなることもあります。確実な定着のために、見守りをお願いします。
- ・答え合わせ（マルつけ）は、自分でします。間違えた問題を確実にやり直しているかどうかの見届けをお願いします。やり直すことで、着実に学力は向上します。

◆ 全学年共通の「家庭学習」の取り組み方

- ①家庭学習を始める前に『家庭学習カード』に「今日取り組む課題」を記入します。（慣れてきたら、1週間分の計画を立てます。）
- ②自分が決めた課題に取り組めます。
- ③課題が終わったら、「取り組んだ時間」と「振り返り」を『家庭学習カード』に記入します。
- ④お家の人にやったところを見せ、『家庭学習カード』にサインやコメントをもらいます。
- ⑤次の日、担任の先生に『家庭学習カード』を提出します。

※自主学習や日記など、お子さんが「先生に見てほしい」と願う課題がありましたら、ぜひ学校に持たせてください。主体的な学びができたお子さんの成長と一緒に喜びたいと思います。

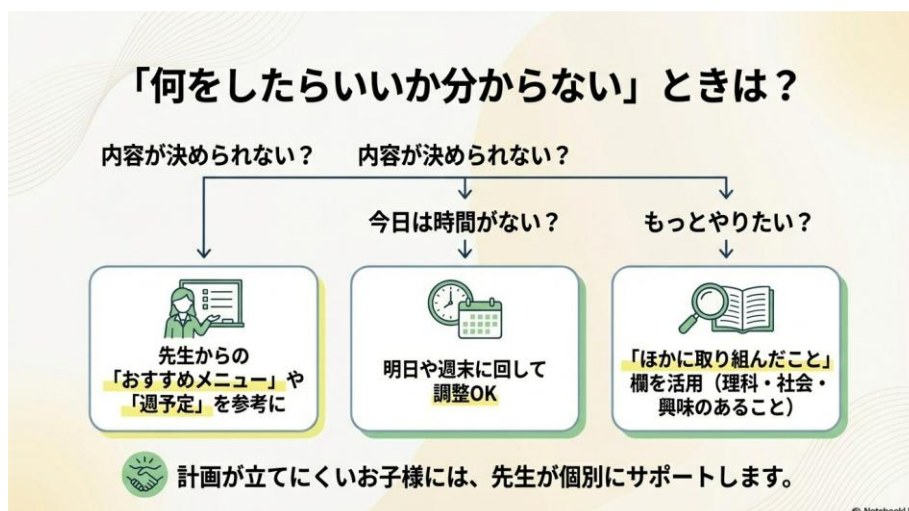
※学習内容や進度に応じて「学校からの課題（宿題）」を出すこともあります。

※詳しい取り組み方は、別紙『家庭学習の行い方』を参考にしてください。

※課題を決めにくいときは、週予定に記載しています「おすすめの家学習」の欄を参考にして取り組んでください。（自分で課題が決められない子へは、個別に対応いたします）

※自分で取り組む課題を決めますので、連絡帳を書いて帰ることはしません。ただし、変更や特別なお知らせがある場合には記入しますので、連絡帳は毎日持たせてください。

※お子さんが「一人ではうまく学習を進められない」などお困りのことがありましたら、それぞ



れのお子さんに合った学習方法を見つけ、個々に対応（教師作成の計画表の持ち帰り、宿題形式、本人と計画をしていく等）していきたいと考えていますので、遠慮なく学校までご相談ください。

家庭学習でめざす子どもの姿

☆自分で考える力

☆目標に向けて
頑張る力

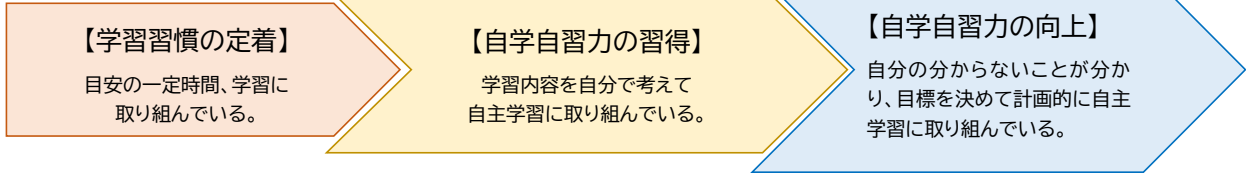
☆自己調整力

☆計画力

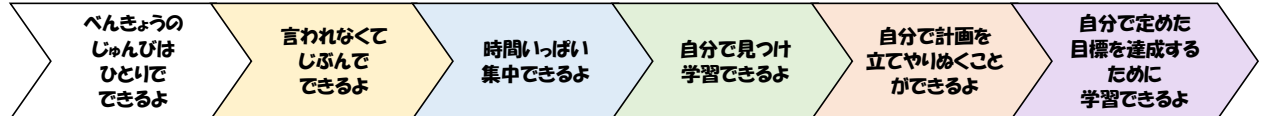
☆自己分析力

1年	2年	3年	4年	5年	6年
----	----	----	----	----	----

★家庭学習の発達段階



★子どもがめざす家庭学習の姿



家庭の役割	<ul style="list-style-type: none"> ○取り組んだノートと家庭学習カードを確認し、子どもの頑張りを認める ○分からないところがあって困っていたら、解決方法をアドバイスする(例:解き方のヒントを与える、明日先生に聞くように促す など) ○何をしたらよいか困っていたら、週予定をもとに取り組み内容をアドバイスする
学校の取組み	<ul style="list-style-type: none"> ①子どもの学習意欲を高める <ul style="list-style-type: none"> ・家庭学習カードで個々の取組状況を把握し、コメントや声かけで賞賛する(認める) ・素敵な取組を学級で紹介し、子どもたちの視野を広げる(広げる) ◎自主学習ノート1冊が終了したら提出させる(例:シールを貼って返却する) ※何冊できるか目標を持たせ、達成感を味わわせる(積み上げる) ②困っている子への働きかけ <ul style="list-style-type: none"> ・つまづいた学習内容の質問に答える/教える ・取組が停滞している子と相談して学習計画を一緒に立てる

保護者の皆様へ：「監視役」から「伴走者」へ

「宿題やったの？」の代わりに...

- ・プロセスを認める声かけ：
「3つも頑張ったね」「集中できてるね」
- ・カードへのサイン・コメント：
「ナイス!」「あと10分できるといいね」
- ・監視ではなく、**関心を寄せる時間**に。



© NotebookLM

かていがくしゅう
家庭学習で「**だいひか**」パワーを身につけよう

だれにでもやさしい子 いきいきまなぶ子
ひとつつながる子 がんばりぬく子

だいがくしゅう
大宝東小学校

かていがくしゅう
家庭学習で、たくさんのメダルをゲットしよう!

まなびメダル!



イエローメダル



決められたことをやりきる力

決められたことを
きちんとやりきる力

ブルーメダル



自分で考える力

自分で何をするかを
考えて取り組める力

レッドメダル



目標に向かって頑張る力

テストや目標に向けて
努力できる力

ブロンズメダル



自己調整力

できなかった分を
取り返したり、前もって
やったり調整しながら
取り組める力

シルバーメダル



計画力

1週間の
スケジュールを立てて、
計画的に取り組める力

ゴールドメダル



自己分析力

自分が分かっていない
ところや、できていない
ところが分かり、そこを
重点的に取り組める力